

緑豊かな屋敷林に囲まれた家々が点在する 散居集落でこれからの農村のあり方を考える

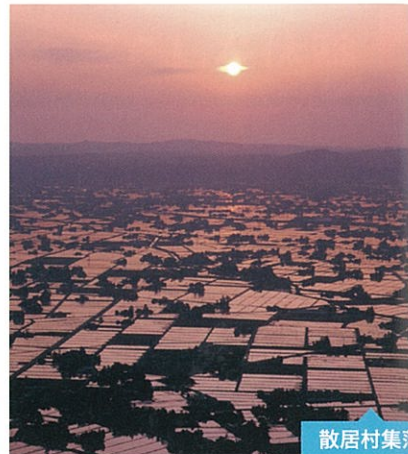
富山平野には、神通川や常願寺川、庄川などの一級河川が流れており、流域には扇状地が形成されています。扇状地一帯には、緑豊かな屋敷林に囲まれた家々が基石を散りばめたように点在する「散居村」と呼ばれる集落が形作られています。散居村の形態は、農業経営

上有利であることから発達してきました。現在も、日本の田園風景を代表する美しい景観を持つ典型的な散居村は砺波平野や黒部市、入善町の黒部川扇状地などで目にすることができます。

美しい日本の原風景から学ぼう



水田に囲まれた屋敷林



散居村集落



となみ散居村ミュージアム

見どころ
学びどころ

1

独特の集落形態・散居村と 伝統的建築について知る

砺波平野や、黒部市、入善町の黒部川扇状地の田園地帯に点在する独特の集落形態や伝統的建築「アズマダチ」や屋敷林「カイニヨ」の特徴やそのメリットについて学びます。

見どころ
学びどころ

2

美しい田園風景からこれからの 日本の社会のあり方を考える

日本の原風景ともいえる景観を再評価することで、これからの社会に必要なものや農村経営のあり方などについて考察を深めます。

事前学習のポイント

- ・散居村とは何か調べる



現地学習のポイント

- ・散居村ミュージアムで暮らしぶりを学ぶ。散居村展望台から実際に散居村を眺める



事後学習のポイント

- ・散居村の暮らしについて意見発表を行う

i information

【となみ散居村ミュージアム】

〒939-1363 砺波市太郎丸80番地
☎(0763)34-7180 FAX(0763)34-7182
<http://www.sankyoson.com/sankyo.html>
●開館時間 9:00～21:00(民具館は18時まで)
●受入期間 通年

- 休館日 水曜・第3木曜(休日は開館) 12月29日～1月3日
- 入館料 民具館高校生以上100円 (20名以上の団体は1人80円) 情報館、交流館、伝統館は無料
- アクセス 砺波ICから車で10分

